水辺のふるさとかつしか

2026.6-2026.8

自然環境レポーター通信



写真のタイトル：セグロアシナガバチ

撮影場所：水産試験場　　写真提供：下山田　隆

水辺のふるさとかつしか　６～８月号

目　次

１．５５種の動植物調査結果　・・・・・・　Ｐ２～５

２．自　由　レ　ポ　ー　ト　・・・・・・　Ｐ６～14

３．季　節　の　写　真　集　・・・・・・　Ｐ15～18

４．魚　か　ら　の　便　り　・・・・・・　Ｐ19～22

５．環境課からのお知らせ　・・・・・・　Ｐ23～26

担当編集のひとコト



こんにちは。環境課自然環境係の津澤です。

令和８年９月５日に、自然環境レポーター委嘱式及び事業説明会を開催しました。令和８年度の自然環境レポーターの皆さま、これからどうぞよろしくお願いいたします。

７月に開催したレポーター研修会では、自然観察を通して多くのことを学ぶことができました。普段何気なく見ている身近な自然でも、少し視点を変えて観察してみると、さまざまな生きものの姿や季節ごとの変化に気付くことができます。私自身も担当者として新たな発見や学びがあり、大変有意義な時間となりました。

自然環境レポーターの活動を通じて、皆さまが身近な自然の中で発見したことや気付いたことを、たくさんお寄せいただければと思います。皆さまからいただくレポートを、私も楽しみにしています。

自然環境レポーター研修会は、今年度あと２回開催する予定です。研修会では、日頃の自然観察にも役立つさまざまな内容を学ぶ機会となりますので、ご都合が合いましたら、ぜひご参加ください。

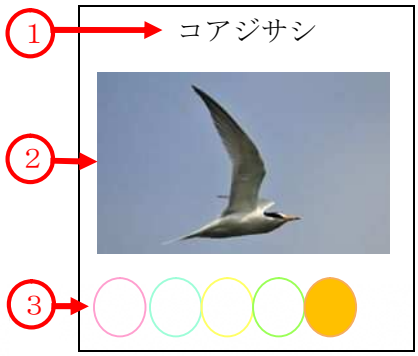
秋は、生きものたちのさまざまな変化を観察するのに良い季節です。夏とはまた違った植物や昆虫、鳥などとの出会いがあるかもしれません。しっかりと食事をとり、体調管理にも気を付けながら、ぜひ秋ならではの自然観察を楽しんでください。

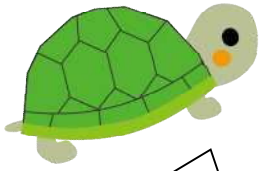
環境課自然環境係　津澤

５５種の動植物
調査結果（６～８月）

【次ページの見方】

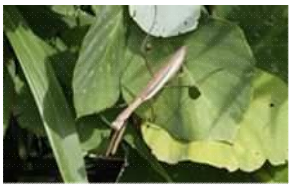
① 名前（赤字は外来種）
② 写真
③ 発見された調査区
（調査区ごとの色で塗り潰し）



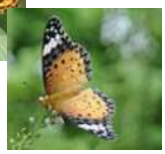
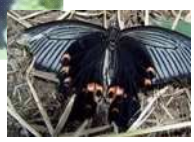


在来種のコアジサシが
調査区５で発見されたと
分かるね！

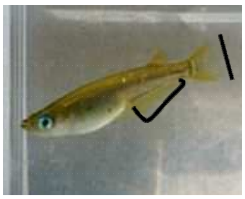
調査区 1 調査区 2 調査区 3 調査区 4 調査区 5

コアジサシ 	ウグイス 	ギンヤンマ 	トノサマバッタ 
ツバメ 	コサギ 	アキアカネ 	クマゼミ 
オオヨシキリ 	カワセミ 	オオカマキリ 	アブラゼミ 
コガモ 	コゲラ 	エンマコオロギ 	ツクツクボウシ 
ツグミ 	シジュウカラ 	カンタン 	ミンミンゼミ 

調査区 1 調査区 2 調査区 3 調査区 4 調査区 5

ニイニイゼミ 	テングチョウ 	ナガミヒナゲシ 	セリ 
ヤマトタマムシ 	ツマグロヒョウモン  ←雄 雌→ 	シロツメクサ 	オオバコ 
ナガサキアゲハ 	アカボシゴマダラ 	スズメノエンドウ 	オオキンケイギク 
クロアゲハ  ←表 裏→ 	アカメガシワ 	イモカタバミ 	カントウヨメナ 
ナミアゲハ 	スギナ  ツクシ ↓	アレチウリ  果実 ↓	カントウタンポポ  反り返らない→

調査区 1 調査区 2 調査区 3 調査区 4 調査区 5

ツユクサ 	ミシシッピアカミミガメ 	コガネグモ 
ジュズダマ 	ニホンカナヘビ 	ジョロウグモ 
ススキ 	ニホンアマガエル 	メダカ  ←カダヤシ激似注意 メダカの特徴
アライグマ 	ニホンアカガエル 	ブルーギル 
ハクビシン 	ウシガエル 	ベンケイガニ 

葛飾区自然環境レポーター　自由レポート（2026 年 6～8 月）

氏名：江戸川の小鮒	調査区：主に 5-24、5-26	町名：東金町

6 月 14 日（日）水元公園　菖蒲田



写真①　花菖蒲とアオサギ

花菖蒲の見頃も最終盤。最後の花見を楽しむために菖蒲田を訪れたところ、アオサギが菖蒲の中でたたずんでいました（写真①）。
すでに時間は１７時を回っていましたが、夏至が近い時期ということもありまだまだ外は明るいせいか園内には人も多く、初夏のひとときを楽しんでいる方が多かった。外国の方も多く、そうした方々にとっても都立水元公園は、春夏秋冬様々な生き物や植物の変化や営みを感じさせてくれる貴重な癒しの場所となっているのではないでしょうか。

7 月 17 日（金）東金町 3 丁目 路上

朝６時過ぎに、金町駅までのいつもの通勤ルートを歩いていると、自転車か車にでも轢かれたのでしょうか道路上にすでに息絶えたヘビの姿がありました。最近はヘビの姿を見る機会もすっかり減っていただけに、しかもこんな人通りが一定程度ある道路上に出てきたなんてと思いつつ、いつもの電車に遅れまいと写真だけ取らせていただいて、その場を後にしました（きちんと埋葬なりできればよかったのですが…）。帰宅後、調べたところではジムグリでしょうか。過去にアオダイショウを時々見かけることはありましたが、ジムグリを見かけたのは 50 年ぶりくらいかもしれません。



写真②　ジムグリの死骸

7 月 28 日（火）東金町 1 丁目駐輪施設入口



3～5 月号で報告させていただいたツバメの巣ですが、すでに子育ても２クール目に入っていて、４羽のヒナがすくすく育っていて巣立ちも間近の状況でした（写真③）。
オーナーさんの話では、１クール目の子育てでは計５羽のヒナが巣立ったとのことでした。
オーナーさんは併設されているタバコ店の接客をしながら、今年もツバメの子育てを温かく見守って下さいました。

写真③ 巣立ち間近の4羽のツバメのヒナ

7 月 28 日（火）東金町 3 丁目個人住宅 → 東金町 3 丁目マンション入口



こちらも 3～5 月号で報告させていただいた個人住宅のツバメですが、こちらは１クール目の子育てでは４羽が巣立ったとのことでしたが、２クール目は５羽が育っているとのことでした（写真④）。
ご主人のお話では、ヒナに与えるエサはトンボが多いとのことでしたが、そんな話をしている最中に親鳥が巣にエサを運んできたのですが、なんと親鳥が口にくわえていたのはやはりトンボでした！トンボは複眼でかつ羽根の動きも器用なことから、敵から襲われると瞬時に敵をかわす能力があると聞きましたが、ツバメからは逃れることはできなかったようです。

写真④ 防犯カメラ上のツバメの巣

さらに、これまでも観察対象となっていた東金町３丁目マンション入口の壁に補強された巣を確認したところ、ヒナ４羽を確認することができました（写真⑤）。このマンション入口は近くに商店が多く人通りも多く、ややカラスに狙われやすい場所で、以前にも営巣中に何らかの理由（カラスに襲われた？）で巣が崩落したことがあったのですが、今回は何とかここまでヒナが無事に育ったようです。マンションのオーナーも糞対策などもしてくださっているようで（写真⑥）、人間に見守られて無事に巣立ちを迎えられたようです。



写真⑤　東金町3マンション入口



写真⑥　東金町3マンション入口

皆さまのお住いの地域ではツバメの繁殖状況はいかがでしょうか。ツバメは営巣ができる環境や巣材の減少等により、数を減らしてきているようです。
これからも葛飾区内でツバメが安心して子育てができる環境が残せるよう、葛飾区で新たな公的な施設を作る際には、各課横断的にツバメやコアジサシなど減少が著しい鳥類が安心して繁殖活動ができるよう生き物に配慮した施設作りのプロジェクトなどが生まれれば嬉しいです。それはきっと子どもたちへの素晴らしい環境学習にも繋がるのではないでしょうか。

大谷　悦子	町名：南水元	調査区：５－２８

家の周りの道はしっかり除草されたようで、昨年よく見かけたコミカンソウなどはほとんどみられませんでした。あまりに暑かったので、家の周りの観察はあきらめ、水元の観察会に参加したときに撮った写真を中心にまとめてみました。

【2026 年 6 月】

６月の水元公園では、あちこちにアカメガシワが咲いていました。小さい花なのですが、沢山集まって咲くので目立ちます。カラスビシャクは菖蒲田の一角にたくさん生えていました。水元公園では初めて見ました。
水辺のさとには、樹液の出るクヌギがあり、オオスズメバチが夢中で樹液を舐めていました。大きかったので、女王蜂と思います。
水辺のさとの近くで、トンボがじっとしていたので、写真に撮ることが出来ました。羽化直後なのでしょう。
ツマキシャチホコは枯れ木の枝のように見えますが、蛾です。白い蛾は、よくわからなくて、後で調べてみたらモンシロドクガといい、毒があるそうなのでびっくりしました。



6/6　水元公園
アカメガシワ（雄花）



6/6　水元公園
アカメガシワ（雌花）



6/11　水元公園
カラスビシャク



6/6　水元公園
オオスズメバチ



6/21　水元公園
チョウトンボ



6/6　水元公園
アカトンボ



6/6　水元公園
ツマキシャチホコ



6/21　水元公園
モンシロドクガ

【2026 年 7 月】

７月の始めにはアオギリの花がまだ咲き残っていましたが、７月下旬には若い実がついていました。中を割ったら青い丸い実が並んで入っていました。
マユミの実にクロイトトンボのつがいがいました。じっとしていたのでよく撮れました。
蓮の池の周りのイネ科植物の葉がいくつも折れ曲がっていたので、そっと開いてみたら、中にクモがいました。カバキコマチグモというそうです。毒があるそうなので、そっとしておきました。



7/7　水元公園
アオギリ（花）



7/24　水元公園
アオギリ（若い実）



7/4　水元公園
クロイトトンボ



7/4　水元公園
カバキコマチグモ

【2026 年 8 月】

ジャコウアゲハ（蛹）、イラガ（幼虫）、ウマノスズクサ、クビキリギス、カキツバタは水辺のさとで見かけました。ジャコウアゲハの蛹は別名お菊虫といいます。「皿屋敷」のお菊さんが後ろ手に縛られて吊されている姿に見えることから、ついたそうです。イラガの幼虫は鮮やかな黄色で形も複雑でとても綺麗でした。ヒロヘリアオイラガのようです。
カキツバタや花菖蒲の実はよく見かけますが、その中の種は見たことがありませんでした。半分割れた実があり、中を覗くとまん丸の実がたくさん入っていました。
蝉の産卵痕はグリーンプラザの庭の木製ベンチにありました。セミは枯れ枝や木の皮に産卵しますが、木製ベンチでもいいのですね。昨年の産卵痕のようです。アカスジカメムシもグリーンプラザの庭にいました。
この時期の水元公園でよく見かける白いきのこはオオシロカラカサタケのようで、なんと、毒だそうです。



8/1　水元公園
ジャコウアゲハ（蛹）



8/1　水元公園
イラガ（幼虫）



8/16　水元公園
ウマノスズクサ



8/16　水元公園
クビキリギス



8/16　水元公園
カキツバタ（実）



8/5　水元公園
蝉の産卵痕



8/5　水元公園
アカスジカメムシ



8/1　水元公園
オオシロカラカサタケ

以上

● 葛飾区自然環境レポーター　自由レポート ●	調査月	2026.06～2026.08	名前	むしあお

＜6 月＞

●観察日：6/23

●調査区：4−22（新宿）



中川土手沿いの道でよく見かける、
クルミを車に轢かせて割るハシボソガラス。
成功した模様。



スグリゾウムシ



クサカゲロウの卵。涼しげ。

＜7 月＞

●観察日：7/20

●調査区：5−26（水元公園）

【昆虫】

チョウトンボ　シオカラトンボ　ウチワヤンマ　アジアイトトンボ　コシアキトンボ　ミンミンゼミ　ニイニイゼミ　アブラゼミ　ヒグラシ
ベッコウハゴロモ　ホオズキカメムシ　ホソヘリカメムシ　ショウリョウバッタ　ナナフシモドキ　アオスジアゲハ　ベニシジミ　アカボシゴマダラ
ナミアゲハ　コミスジ　シロテンハナムグリ　オオヒラタシデムシ　キイロスズメバチ　モンスズメバチ　スズバチ　など

【鳥類】

アオサギ　ムクドリ　シジュウカラ　メジロ　など

【植物】

シロツメクサ　スギナ　オオバコ　ワルナスビ　など



反るナナフシモドキ（逆光…）



→このくらいのサイズでした



アオサギも暑そう

ヤブガラシにきていた、よく似た２種。

同じ個体だと思って写真を確認したら違っていた。観察大事。



キイロスズメバチ



モンスズメバチ



コミスジ

バードサンクチュアリにて。





ワルナスビ（要注意外来生物）が群生しているエリア。トゲがあるし有毒らしいし、本当にワルそう。

＜８月＞

●観察日：8/14

●調査区：4−22（新宿）

にいじゅくみらい公園の池にどんな水生昆虫がいるのか気になっていたので少し観察してみたところ、

ハイイロゲンゴロウを確認。忙しなく泳いだり、たまに浮かんだりしていた。難しそうだが今度撮影に挑戦してみたい。

●観察日：8/14

●調査区：5−28（南水元）

前日の警報級大雨のせいで、自宅裏の空き地が結構な池と化しており、

日中はトンボがたくさん飛んできていた。

夜、勝手口を開けた瞬間、ウスバキトンボが室内に闖入。

トンボって夜活動するの？！とびっくりしたが、調べると、ウスバキトンボは

灯火に寄ってくる習性があるらしい。



捕虫網で無事捕獲＆リリース。

氏名　K･N	町名　東金町	調査区　5
（水元公園正面入口～養魚場入口間の指定種の植物と昆虫）鳥類は大橋周囲～小合溜（種類 ･植物 ･蝶々 ･野鳥（令和 8年6月･7月･8月）月1回		

種類	6月	7月	8月	種類	6月	7月	8月
セイヨウタンポポ	0	0	0	コサギ	1	1	1
つゆ草	0	多数	多数	アオサギ	1	1	1
シロツメクサ	0	多数	多数	蝶類	8	6	3

７月から８月は連日３５度前後の高温　（昨年も同様の高温と記録あり）

観察地は雑草も枯れ気味でタンポポはなし、他の花類も少ない。だが、公園内にはシロツメとツユクサの花が８月下旬も多数咲いていた。７月、昨年は不良だった天然記念物のオニバスは多数咲いていた。

８月中旬の午前、ハス池周囲の木陰で一休みの昆虫と野鳥に出会った。

・ヤモリだと思うが、なんと木の上の葉の影にいた



・昆虫の名前は？だが



・蝶々も葉にベッタリ



・昆虫の名前？



・ダイサギも木陰でじっとしていた



・ゴイサギ？も動かない



セミ情報

近所の公園でセミの幼虫にハチがかぶりついていた、また、路上でもセミに蜂がかぶりついていた。いままで見たことがなかったのでびっくりした。

昨年の記録でもセミの鳴き声が少ないとあったが、今年も同様だった。

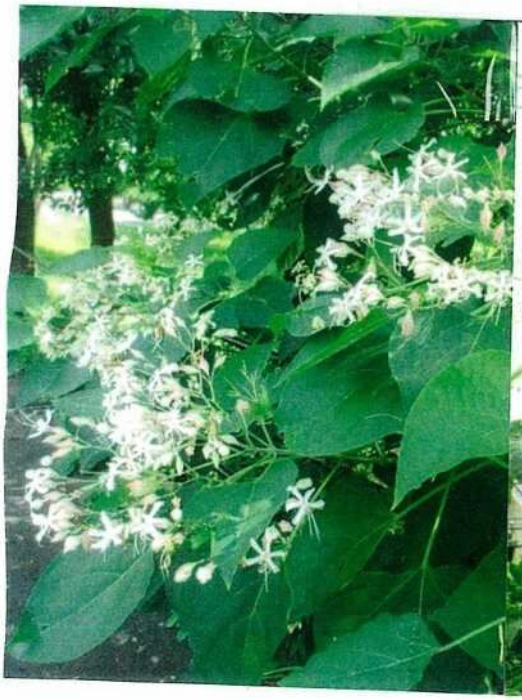


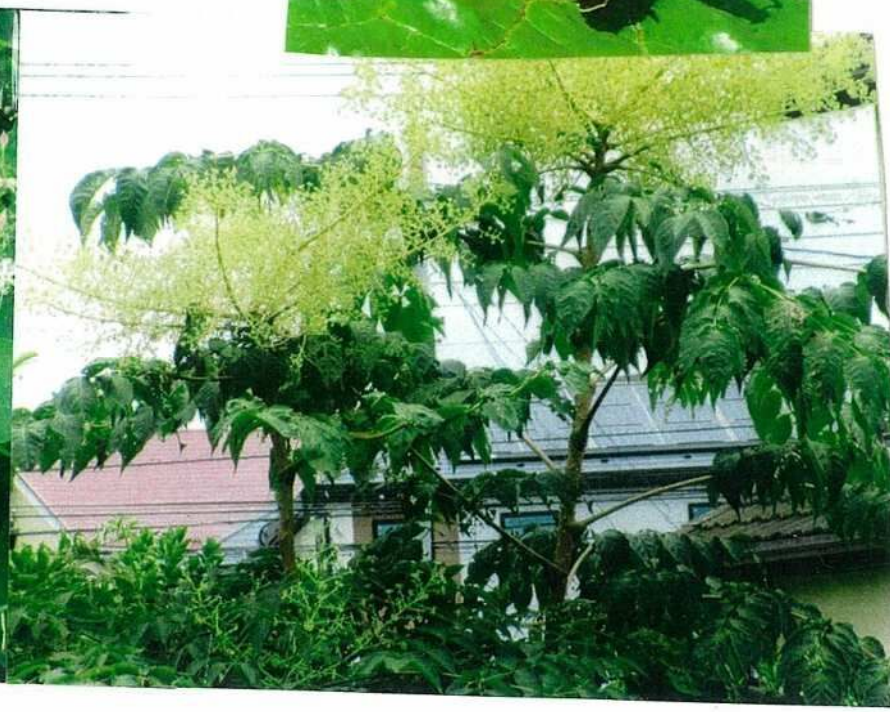
オニバス

↓



道路の木々に花が咲いているのはやはり珍しい





季節の写真集（6~8月）



「巣立ち」　オナガ
瑛ちゃん 6/30　金町公園



「目立ちます」
瑛ちゃん 7/7 柴又３丁目



「壁ドン練習」
瑛ちゃん 8/29 金町２丁目



「ハクセキレイがお食事、今朝はゴキブリ！」
神山 隆敬 7/27 亀有駅前



「ひまわり」
鈴木　園未 8/14　せせらぎ公園

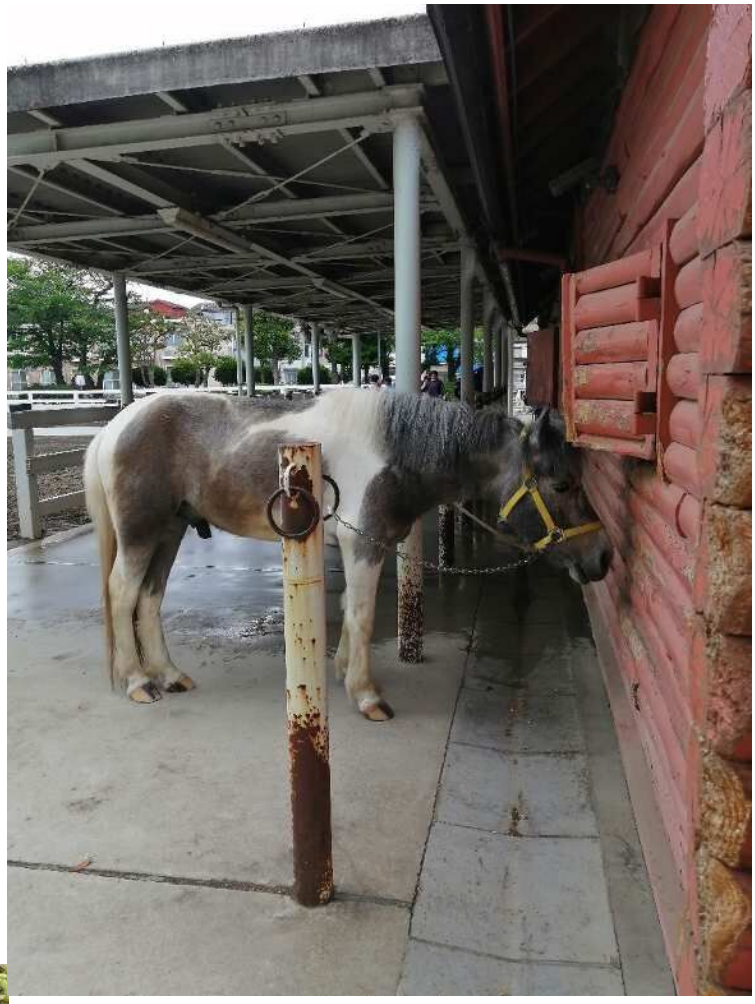


「虹」
鈴木園未　8/14　西亀有

「キラキラ！アシナガバエの仲間」
むしあお　6/23　南水元



「環境にやさしい馬」
R 5/23 水元スポーツセンター公園





「ツマグロさん」
Ryu 6 /23 清和小学校

葛飾柴又新八水路　魚からの便り-347

	調査次数	349			備　考
	調査日	2026/7/20			
	地点	本流	新八水路	新八ワンド	
1	オイカワ	9 80-126			
2	カダヤシ			3 11-28	特定外来生物
3	カマツカ	2 51-70			
4	ギンブナ	4 83-115	4 16-47	2 47-52	
5	コイ	1 94			
6	コクチバス	10 56-400			特定外来生物
7	ゴクラクハゼ	2 81-82			
8	スゴモロコ属雑種	3 71-84			
9	スズキ	1 124			
10	スミウキゴリ		17 37-49		
11	ドジョウ		2 82-88		
12	ニゴイ	15 55-215			
13	ヌマチチブ	2 64-68			
14	ブルーギル	1 110			特定外来生物
15	ボラ	13 62—132			
16	マハゼ	22 67-100			
17	メダカ		13 13-23	4 13-21	
	計	13種類85個体	4種類36個体	3種類9個体	

・上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小ー最大範囲（単位：mm）

・江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて17種類130個体の魚類が採集されました。

・晴れ、気温35.1℃、水温 本流26.5℃、新八水路26.8℃、新八ワンド28.5℃

【参加者コメント】

・上流で降った雨のせいか、増水して、沈船が全く見えない、しかも早い流れの中の調査になりました。通常より、本流の調査範囲は狭めです。（オフレコ。でも、けっこう楽しかった。自分の真上に網を打たない、紐を腕に巻かない。網が流される分を計算して打つ、移動するときは下流側に網を持つ、江戸川では普段考えない安全確保を、ひとつずつ思い出しながら）
川を、ホテイアオイが流れていました。定着されないよう注意。(KI)

【今後の調査日】8月9日(日)　9月12日(土)　10月11日(日)

HP（ http://shigenori1.jimdoweb.com/ ）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路　魚からの便り-348

		調査次数	350			備　考
		調査日	2026/8/9			
		地点	本流	新八水路	新八ワンド	
1	オイカワ	2				
		.122-126				
2	カダヤシ		4	89		特定外来生物
			16-29	9-41		
3	カマツカ	1				
		81				
4	ギンブナ	5		1		
		93-285		42		
5	コイ	2	1			
		93-133	64			
6	コクチバス	11				特定外来生物
		82-163				
7	スゴモロコ属雑種	1				
		79				
8	スミウキゴリ		9			
			37-63			
9	ニゴイ	8				
		112-214				
10	ヌマチチブ	1				
		64				
11	ブルーギル	2				特定外来生物
		115-184				
12	ボラ	11				
		98-455				
13	マハゼ	2				
		91-112				
14	メダカ		1	58		
			22	11-30		
		計	11種類46個体	4種類15個体	3種類148個体	

・上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小ー最大範囲（単位：mm）

・江戸川本流、新八水路、新八ワンドあわせて14種類209個体の魚類が採集されました。

・晴れ、気温34.1℃、水温 本流32.8℃、新八水路27.6℃、新八ワンド38.1℃（13時30分頃測定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川　市川根本排水機場江戸川側）
(10:00)1.22m (12:00)1.23m (14:00)1.24m

【参加者コメント】

・いつもより川が濁っており腐敗臭のような臭いがした。そのせいかハゼ類の捕獲数が少ないような気がしました。(T)

・本流から水路の入り口にスズメバチ 5から６匹いました 。結構な恐怖感じましたので 藪漕ぎ際は 気をつけましょう。(MT)

【今後の調査日】9月12日(土)　10月11日(日)

HP（ http://shigenori1.jimdoweb.com/ ）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

葛飾柴又新八水路　魚類出現状況

No.	標準和名＼地点	調査次数	1-48	49-106	107-163	164-223	224-235	236-247	248～259	260～271	272～283	284～295	296～307	308～319	320-331	332-343	344	345	346	347	348	349	350
		年次	96-00	01-06	06/4-10	2011-15	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026						
		回数・日程	48回	58回	57回	60回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	12回	1.31	2.28	3.20	4.5	5.17	7.20	8.9
			本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド	本流 新八 ワンド
1	コノシロ															●							
2	イセゴイ																						
3	ウナギ	● ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○					○	○	○	○	○	○							
4	ワカサギ	●	○	○ ○	○	○			○	○			○										
5	アユ	●	○	○	○ ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
6	サケ	●	○	○	○ ○	○	○	○	○	○	○			○									
7	タモロコ	●	○ ○	○ ○	○	○ ○			○			○											
8	スゴモロコ	● ○	○	○ ○ ○	○	○			○	○	○	○	○	○									
	スゴモロコ属雑種															○		○	○	○	○	○	○
9	デメモロコ					●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ ○							
10	ヒガイ属	●	○	○	○	○	○	○	○	○		○											
11	ニゴイ	● ○	○ ○	○ ○ ○	○	○ ○	○	○	○	○	○	○ ○	○	○	○	○	○			○	○	○	○
12	カマツカ	●	○ ○	○	○	○	○	○	○	○		○		○		○					○	○	○
13	ツチフキ		● ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ ○	○	○		○							
14	モツゴ	● ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	○ ○		○	○					
15	マルタ	● ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○	○	○	○	○	○ ○	○	○ ○					○		
16	ウグイ	●	○	○	○ ○	○	○	○	○	○													
17	カワムツ										●												
18	オイカワ	● ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○	○	○	○	○	○ ○	○	○	○	○	○ ○	○	○	○	○	○
19	ハス	● ○	○	○	○ ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○				
20	ワタカ	● ○	○	○	○	○	○			○	○	○		○									
21	ハクレン	● ○	○ ○	○ ○	○ ○				○	○			○										
22	キンブナ	●																					
23	ギンブナ	● ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○			○	○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○
24	ゲンゴロウブナ	● ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○	○	○	○	○	○ ○	○	○					○			
	フナ属			△	△ △	△ △ △		△ △		△ △				△									
25	キンギョ	●																					
26	コイ	● ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○					○ ○ ○	○	○ ○
27	コイとフナの雑種	●	○	○ ○		○																	
28	ヤリタナゴ	●						○															
29	イチモンジタナゴ	● ○																					
30	アカヒレタビラ	●																					
31	タイリクバラタナゴ	● ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○	○ ○	○ ○ ○	○	○	○	○ ○			
32	ドジョウ	●	○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ ○	○	○					○ ○	○	
33	カラドジョウ	● ○	○	○	○																		
34	アメリカナマズ	●				○																	
35	ナマズ	● ○										○											
36	クルメサヨリ					●			○		○												
37	メダカ	● ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○	○	○	○ ○		○ ○	○ ○
38	カダヤシ	● ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○					○	○ ○
39	ボラ	● ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○	○	○ ○ ○	○ ○	○	○
40	メナダ	●																					
41	カムルチー	● ○		○				○		○	○	○	○	○	○ ○	○							
42	クロダイ												●		○	○							
43	スズキ	● ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○		
44	オオクチバス	● ○	○ ○	○ ○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○				○			○
45	コクチバス		●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○ ○	○	○		○		○	○	○	○
46	ブルーギル		● ○	○ ○			○ ○	○		○ ○		○	○	○	○ ○	○					○		○
47	シマイサキ	●																					
48	ヒイラギ					●			○														
49	カワアナゴ															●							
50	ヌマチチブ	● ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○	○	○	○	○ ○	○	○ ○	○ ○	○	○	○	○	○	○ ○	○	○
51	チチブ	●		○																			
52	シモフリシマハゼ	● ○	○ ○	○		○		○	○					○	○	○					○		
53	ゴクラクハゼ				●	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	クロダハゼ（※）	● ○	○		○ ○	○ ○ ○	○	○	○	○	○ ○	○	○	○	○								
	ヨシノボリ属	● ○	○ ○	○ ○	○	○	○							△									
55	ビリンゴ	● ○		○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	○		○													
56	ウキゴリ	● ○	○ ○	○	○ ○	○ ○	○			○	○	○	○										
57	スミウキゴリ	●	○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○					○ ○ ○	○	○
	ウキゴリ（型不明）			△																			
58	マハゼ	● ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○	○	○	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○						○ ○	○
59	アシシロハゼ	● ○	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○	○	○	○	○	○	○	○ ○	○					○		
60	ヒナハゼ					●																	
61	カラドンコ												●										
	地点種類数合計		42 36	37 28	39 26 27	40 22 26	31 11 12	29 10 9	31 10 9	32 10 6	28 11 7	28 12 14	28 12 9	29 14 10	29 10 7	32 9 9	5 3 0	6 5 0	6 1 0	8 4 2	14 6 5	13 4 3	12 4 3

●‥初採取　　※：和名がヨシノボリ（橙色型）からクロダハゼに変わりました。

環境課からのお知らせ

★自然環境レポーター研修会を開催しました！★

令和８年７月 26 日（日）、水元公園グリーンプラザで、夏の自然観察会を開催しました。

「５５種の動植物の指標種」（Ｐ２～５参照）リストを基に生きものを探し、講師の詳細な解説を受けて知識をアップデートするほか、参加者全員で観察を行い、レポーター同士の交流も深めることが出来ました。

研修会の後半では、実際に観察した生きものの紹介や、気づいたことを報告しあいました。

水元公園の生きものについて、知識を深めることができ、レポーター同士の交流の機会となりました。

暑い中、ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

今後も研修会を開催していく予定ですので、レポータｑー同士の交流やレベルアップのためにも、皆さまのご参加をお待ちしております。



▲フィールドワークにて
講師の解説を受ける
自然環境レポーターの皆さま



▼観察したチョウ

環境課からのお知らせ

★グッドかわせみ賞受賞者★
１５名をご紹介します！



グッドかわせみ賞は、年に７回以上レポーター活動に励んだ方に授与されます。
受賞された皆さまには、委嘱式時に賞状と記念品をお渡しました。
※委嘱式を欠席された方には郵送しております。

グッドかわせみ賞を受賞された皆さま（敬称略）

瑛ちゃん	江戸川の小鮒	石戸　雅彦
大谷　悦子	神山　隆敬	下山田　隆
高橋　裕子	田村　ひろ子	となり
ひまわり	むしあお	ゆきひめ
K・N	Ryu	T・K

受賞おめでとうございます！

グッドかわせみ賞は今年度も実施します。
ぜひ皆さま活動に励み、今年度の
グッドかわせみ賞を目指しましょう！



環境課からのお知らせ

★新ハ水路で魚類調査を行います★

自主生物調査団が、新ハ水路にて魚類調査を行います。調査の結果は、「魚からの便り」として水辺のふるさとかつしかに掲載しています。

【日時】11 月７日（日）　12 月 6 日（日）
　　いずれも 10 時～16 時ごろ
【場所】江戸川河川敷　※事前連絡をお願いします。
【持ち物】着替え、昼食、飲み物 、首に巻くタオル、短くないソックス
　詳しくは、ＨＰ（https://shigenori1.jimdoweb.com/）をご覧ください。



★綾瀬川等で行う水辺環境調査を見学しませんか★

採取した生きものを展示して、その場で調査結果の概要を説明します。
直接会場へお越しください。※駐車場はありません。

【日時】令和８年 11 月 11 日（水）〈予備 11 月 25 日（水）〉
　　11 時半～12 時（調査報告）
【場所】曳舟川親水公園

★カワセミの個体数調査の参加者を募集します★

水元小合溜の水質浄化事業「カムバックかわせみ作戦」により、すっかり身近になったかつての幻の鳥「カワセミ」。そんなカワセミが、水元公園に何羽カムバックしてくれたのか、みんなで調べてみませんか？

【日時】11 月 29 日（日）　10 時～12 時　　「カワセミ個体数調査事前説明会」
12 月６日（日）　　９時半～13 時　「カワセミ個体数調査」
※予備日：12 月 13 日
※今回初めて参加される方は、事前説明会にご参加ください。

【場所】
〈事前説明会〉
水元かわせみの里　水辺のふれあいルームおよび水元公園周辺
葛飾区水元公園８番３号
〈調査当日〉
水元公園グリーンプラザ
葛飾区水元公園７-２　水元グリーンプラザ

【申込先】
水元かわせみの里　水辺のふれあいルーム
葛飾区水元公園８番３号
電話：03-3627-5201
申込み等の詳細は 11 月頃の広報葛飾や区葛飾区ホームページより、ご確認ください。

≪お詫びと訂正≫

「水辺のふるさとかつしか」2026. ３～2026. ５（第 337 号）の P22 にページ抜けがありました。本来掲載予定であった「魚からの便り 344」は次のページのとおりです。
また、同号の全ページの左上に誤って「#」が入っておりました。
ここに深くお詫びし、訂正させていただきます。
※ホームページは差し替え済みです。

葛飾柴又新八水路　魚からの便り-344

	調査次数	346			備　考
	調査日	2026/3/20			
	地点	本流	新八水路	新八ワンド	
1	オイカワ	6 26-116			
2	ギンブナ		2 90-94		
3	ゴクラクハゼ	2 30-35			
4	スゴモロコ属雑種	4 43-85			
5	ヌマチチブ	11 39-73			
6	ハス	2 110-130			
7	ボラ	10 41-210			
	計	6種類35個体	1種類2個体	0種類0個体	

・上段の数字は個体数、下段の数字は全長の最小一最大範囲（単位：mm）

・江戸川本流、新八水路あわせて7種類37個体の魚類が採集されました。（ワンドは採集できず）

・雨、気温10.1℃、水温 本流13.3℃、新八水路11.5℃（13時30分頃測定）

「参考」江戸川の水位（観測所：千葉県市川市市川　市川根本排水機場江戸川側）
(10:00)1.28m (12:00)1.16m (14:00)1.21m

【参加者コメント】

・ヌマチチブが、抱卵しているのか、一瞬、フグ!?のシルエットに見えるくらい丸々していました。
土手のサクラは未開花も、ヤナギ類が黄緑の葉を広げ始め、水温も上がってきました。しかし、雨で気温が低く、風が吹くと、手を水につけていた方がマシでした。(KI)

・雨がふって体感温度は寒かったが、水温は上がってきていた。遠くで跳ねてる魚が何匹か見えたので生き物の活性が上がってきたと思う。（IS）

・冷たい雨の中の調査はきつい。本流は水位が低かったのがせめてもの救い。
たっぷりと水位がある水路、ぬかるむ中の調査は下半身に堪える。
ワンドは一部に水は少しあり、アカガエルと思われるオタマジャクシは確認できたが、先月に続き魚は採れず。（SI）

【今後の調査日】　4月5日(日)　5月17日(日)　6月27日(土)　7月12日(日)　8月9日(日)
9月12日(土)　10月11日(日)

HP（ http://shigenori1.jimdoweb.com/ ）新八水路「自主生物調査団」【編集：一澤成典】

今号にご協力いただいた皆さま（敬称略）

石戸　雅彦	瑛ちゃん	江戸川の小鮒
大谷　悦子	神山　隆敬	下山田　隆
鈴木　園未	高橋　裕子	田村　ひろ子
となり	ひまわり	むしあお
ゆきひめ	K・N	R
Ryu	T・K	

自主生物調査団（編集：一澤成典）

ありがとうございました！

「水辺のふるさとかつしか」 第338号
（葛飾区　自然環境レポーター通信第290 号）
令和8年 10 月吉日　発行
葛飾区環境部環境課自然環境係
〒124－8555　葛飾区立石5－13－1
代表電話　(3695)1111
直通電話　(5654)8237
FAX　(5698)1538

▲区のホームページにも
掲載しています。
(URL)
https://www.city.katsushika.lg.jp/kurashi/1000062/1030304/1037174.html



「水辺のふるさとかつしか」の内容について、
お間違い等お気づきの点がありましたらお知らせください。